

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月14日

事業所名 : 放課後等デイサービスさんてらすの花

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	スペースを区切る個室を用意する	・エリア分けで構造的配慮をしている。
	2	職員の配置数は適切である	5	0		・基準人員を満たし、かつ加配を2名配置している。細かな配慮が難しい時がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1		・建物の構造上、バリアフリー化が難しい所がある。階段に手すりの整備
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	昼礼・ミーティング等	・適宜ミーティングの時間を取りようになっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0		・聴取したご意見を会議にて職員に周知し、改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	冊子にして配布 法人HPにて公開	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	1	外部評価は未実施	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	職責にあった研修を受けている	・多職種で研修実施。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		・本児を取り巻く環境も含め包括的かつ質的に評価し計画作成にあたっている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0		・質的な評価が中心。ツールについては検討中。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	誰もが話しやすい環境設定	・チームアプローチで計画、立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・月単位の活動表配布	静と動の活動を取り入れたり、季節の行事を取り入れたり、活動に偏りがないように努めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0		活動計画に児童らの意見を盛り込めるように、必要に応じて児童にも計画実施していけるよう協業している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	・適宜開催	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	・昼礼の実施	役割分担が十分に出来ていない時があるが、支援の内容やスケジュールの共有は必ずミーティングしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	・昼礼にて共有 ・共有ノートの活用	・共有ノートや昼礼にて全職員に周知してもらっている。早番時は、就業時間内に出来ない場合もある。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	当日中に記録を作成する	・関わった職員が、児童の様子と対応を考察の視点を持って記録に残すようにしている。当日にかけない時がある。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	定期的実施	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	0		・施設内研修にて、ガイドラインについての理解を深める取り組みを実施した。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	参加できるようにシフト調整	・児童発達支援管理責任者が参加している。	

関係機関 や保護者 との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	行事予定表や下校時間表をいただいている	・送迎時に学校での様子を聞いたり、事業所での様子を伝えながら、情報共有に努めている。保護者の方も含め、必要時は面談を設けている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	0		・定期的に課題点についてや対処法について話し合い役割を決めるように確実に出来る様に取り決めていく必要がある。保護者の方と情報共有は、行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0		・進学予定の児童を対象とした移行支援会議に参加した。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	5		・対象者がいない為、未実施ではあるが、実施する事を念頭に情報提供する資料を準備していく予定。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3		・現在実施なし。交流の機会があれば検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3		・現在の所、該当なし。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0		・気になることや保護者の方からの質問に対して、連絡ノートや帰宅時に口頭にて共有し、電話対応等を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0		
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		・契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		・必要に応じて行うように心がけている。お話ししやすい様茶話会」等の開催している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0		・感染症拡大防止の観点から、開催を控えた。状況が変われば取り組んでいきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	苦情相談窓口・第三者委員の設置	・苦情などのご意見があった際、今後どのようにしていくか検討し対応できるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	さんてらす通信イベントのご案内	
	35	個人情報に十分注意している	5	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	ひらがな、絵、修飾など	・言葉だけではなく視覚支援でイラストや身振り手振りなどを使い特性や能力に応じて対応するよう努力している。スケジュールも適宜使用できるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		
非常時 等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	各種マニュアルの作成	・今一度、周知し必要な時にすぐ閲覧できるようにしていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	原則年2回実施	年に二度利用児と避難訓練を行い、一階の会社の皆様と連携しながら行う避難訓練も年に一回行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	防止マニュアルを策定している	・三か月に一回必ず会議を行い、虐待や身体拘束についての理解を深めれるようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	身体拘束適正化のための指針を作成	・虐待同様に三か月に一回必ず会議を行っている。利用児様に対しては十分に説明が出来ていないかもしれない。保護者様に対しては、重要事項説明書に則り説明を行っている。

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	アレルギーの有無の確認	・卵アレルギー(生のみ)の児童に対して情報収集している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	作成と確認を全職員で徹底	・適宜作成。職員全員が見れるように公開し共有している。職員間での具体的対応をもう少し話し合えとなお良いと思う。